

団体名：シャンティ国際ボランティア会

国名：アフガニスタン

日付：2025年6月30日

報告書名：令和5年度 完了報告書（JPF）

令和5年度 JPF 完了報告書

事業名	クナール県における食糧・生活必需品配布による越冬支援事業 Winterization Project through Distribution of Food and NFIs in Kunar Districts
事業対象地	アフガニスタン クナール県
事業期間	2023年9月13日～2024年3月12日
公的資金種別	ジャパン・プラットフォーム
予算	43,354,565円
実施内容概要	本事業では、クナール県西部のダンガム地区とナリ地区において、喫緊の食糧ニーズおよび越冬支援に対するニーズに対応するため、国内避難民を中心に、特に脆弱な立場に置かれている女性世帯主、栄養失調の子どもがいる世帯等を対象として、450世帯の裨益者を選定して、3ヵ月分の食糧および越冬に必要な生活必需品を配布した。
成果の達成度	事業承認後の現地との更なる調整を通して、食糧キット（豆類等）および生活必需品キット（ブランケット）の内容を一部変更した。これにより予算に余剰が生じ、追加配布を行うこととした。対象の二地区に追加配布をすると一地区あたり25世帯となり、効果が小さくなってしまふことから、より脆弱性の高いダンガム地区で50世帯を対象に追加配布を実施することとした。 上記変更により計画を上回る裨益世帯（ダンガム地区で250世帯、ナリ地区で200世帯）への食糧・生活必需品配布をするに至った。事業期間内に追加配布も終了することができた。
学びと提言	本事業では、裨益者は配布会場に赴き、物資を受け取り自宅まで運搬した。運搬に困難がある場合は、必要に応じて業者を通して運搬を補助した。モニタリングによれば、裨益者にとって、配布所までの時間は平均して2時間34分、待ち時間は平均して37分であり、アクセスの課題があった点は指摘できる。一方で、REACH(2023)の報告書 ¹ によると、市場が遠く利用しづらい人の割合は、両地区ともに60%以上であることから、現物での食糧配布は妥当であったと判断できる。物資配布における時間的負担の軽減が求められる。 モニタリングされた70の裨益世帯の内4世帯から、物資の配布時間・場所、物資の量に関する照会が行われた。照会を行ったいずれの世帯も、職員の説明が十分であったと回答している。学びとしては、物資配布の基本情報が誤って伝達されると、事業過程での混乱を惹起しかねないことから、基本情報の伝達を確実に行うことが必要である。

¹ [Afghanistan: Humanitarian Situation Monitoring \(HSM\) Round 5 - The District Tables Factsheet \(December, 2023\) - Afghanistan | ReliefWeb](#)